

乳児等通園支援の量の見込みと確保方策に係る算出について

【令和8・9年度算出根拠】

量の見込みは、ニーズ調査結果に基づき算出した令和7年3月策定時と同数とする。
確保方策は、市の実情を考慮し、1施設での実施とする。

量の見込み（人日）

$(0歳未就園91人 \times 55.6\%) + (1歳未就園61人 \times 8\%) + (2歳未就園62人 \times 5.6\%) \times 12か月$
=720人日

量の見込み（時間）

$720人日 \times 10時間（月1人当たり利用可能時間枠） =$ 7,200時間

確保方策

$4人 \times 2時間 / 日 \times 2日 / 週 \times 4週 \times 12か月 \times 1施設 =$ 768時間

【令和10・11年度算出根拠】

市立保育所の再配置による佐貫保育所・峰上保育所の廃止に伴い、保育士を4保育所に集約することで実施施設を追加できる可能性があること、また私立施設の参入の可能性から、量の見込みと同数とした。2年かけて提供体制の整備に取り組んでいく。

<参考>

想定される体制		施設数	定員	時間 (日)	日 (週)	時間 (週)	確保方策（年間）	
R8 ・ R9	① 【1施設】	1施設	4人	2時間	2日	16時間	768時間	
R10 ・ R11	② 【2施設 ×2通り】	2施設	4人	2時間	2日	16時間	1,536時間	7,680時間
		2施設	4人	4時間	4日	64時間	6,144時間	
R10 ・ R11	③ 【3施設】	3施設	4人	4時間	4日	64時間	9,216時間	
		4施設	4人	4時間	4日	64時間	12,288時間	